

# 第6講座 古文

## 敬語

(1) 次の——線部の敬語の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① お客様のお名前を伺つてもよろしいでしょうか。
- ② これは姉のものでございます。
- ③ お手紙を拝見しました。
- ④ 友人の家でケーキをいただきました。
- ⑤ これはあの方がくださったものだ。

ア 尊敬語    イ 謙譲語    ウ 丁寧語

①
②
③
④
⑤

(2) 次の——線部を正しい敬語表現に書き直しなさい。

- ① 先生が申し上げたことを、よく聞こう。
- ② それは私がなさいます。
- ③ 母は、お出かけになっています。
- ④ 父が、今すぐいらつしやいます。
- ⑤ 校長先生のお話を聞く。
- ⑥ お電話をくださったのはだれですか。

⑤	③	①
⑥	④	②

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

\*1 腑のぬけたる仁に海老をふるまひけるが、赤きを見て、「これは、生れつきか、また朱にてぬりたる物か」と問ふ。\*2 「生得は色が青けれど、釜にて煎りて赤うなる」といふを合点しあけり。ある侍の馬にのりたる先へ、二間まなか柄の朱鍮二十本ばかり持ちたる中間どものはしるを見、手を打つて、「さても世はひろし。奇特なる事や」と感ずる。「なにをそなたは感ずるや」と問ひたれば、「その事よ。いまの鍮の柄の色は、火をたいて剥いたものぢやが、あれ程ながい鍋がようあつた事や」と。

(安楽庵策伝『醒睡笑』)

- \*1 腑のぬけたる仁ニまのぬけた人。
- \*2 ふるまひけるがニごちそうしたが。
- \*3 生得はニもともとは。      \*4 煎りてニ煮詰めて。
- \*5 二間まなか柄の朱鍮ニ約四メートルの赤い柄の鍮。
- \*6 中間どもニ家来たち。
- \*7 奇特なる事ニめつたにない珍しいこと。

問一 ——線①「生得は……赤うなる」のは何ですか。文中から書き抜きなさい。

問二 ——線②「手を打つて」の主語として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア まのぬけた人    イ 海老をごちそうした人  
ウ 馬に乗った侍    エ 家来たち

問三 この文章のおもしろさは、どんなところにありますか。最も適当

なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア まのぬけた人が海老が赤くなる理由についてうそを教えられた  
が、それに全く気づいていないところ。

イ まのぬけた人が、朱鍮が海老と同じようにして赤くされている  
と思ひ込み、鍋の長さを感じしているところ。

ウ 家来たちがふつうよりもだいたい長い鍮を持たされて馬に乗って  
走っているところ。

エ 鍮を煮ることができるとの大きな鍋が実際にあったというこ  
ころ。

## 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

穂積氏の老母昌貞尼は、洛の高台寺に隠居す。風流、世にすぐれたり。騷客、門に充てり。庭前十畝ばかりを柴として刈ることなし。世人これを取り残しの柴と呼べり。蝶の来るを待つなり。

また、庭園に鶯日ごとに來り鳴くをよろこび、梅なくてあるべからずとて、洛東にもとむれども心になかなひたる古木なければ、人を雇ひて探りもとむるに、嵯峨に老木の大きいありと聞きて、多く金を費やして庭園に植ゑたりけるに、梅を植ゑたる日よりして、かの鶯いづくへか行きけん、終に來らずなりぬ。

(柳沢淇園『雲萍雜志』)

\*1 洛 II 京の都。

\*2 騷客 II 風流な人たち。

\*3 畝 II 広さの単位。

\*4 嵯峨 II 今の京都市西部の地名。

\*5 多く金を費やして II 代金をたくさん払って。

問一 線①「風流、世にすぐれたり」、③「梅なくてあるべからずと

て」の現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、それぞ  
れ記号で答えなさい。

① ア 風流な人が、たくさんいる世の中だった。

イ 風流な世に、豊かに暮らしていた。

ウ 風流なことが、世に抜きん出た。

エ 風流な、優れた人と暮らしていた。

③ ア 梅が見あたらぬが実はどこかにあるはずだと思って。

イ 鶯には梅がなくてはならないと思って。

ウ 梅がなくては鶯がやってこないだろうと思って。

エ 梅がないことを気づかれてはいけなと思って。

問二 線②「庭前十畝ばかりを柴として刈ることなし」とあります

が、柴を刈り残したのは何のためですか。現代語で書きなさい。

問三 線④「聞きて」の主語として最も適当なものを次のうちから

選び、記号で答えなさい。

ア 昌貞尼 イ 高台寺に集まった騷客

ウ 世間の人々 エ 雇われた人

問四 この文章の内容と合うものを次のうちから一つ選び、記号で答え

なさい。

ア 昌貞尼はなんとか庭に鶯を呼びよせたいものだと思った。

イ 昌貞尼はよい梅の木を求めて足を棒にして歩いた。

ウ 嵯峨で、若々しい、枝ぶりの見事な梅の木が見つかった。

エ せっかく庭に梅を植ゑたのに、鶯はもう現れなくな  
った。

# 練習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

\*1つくし 筑紫に、なにがしの押領使などいふやうなるものありけるが、土大根をよろづにいみじき薬とて、朝ごとに二つづつ焼きて食ひける事、年久しくなりぬ。ある時、館の内に人もなかりける隙をはかりて、敵襲ひ来りて囲み攻めけるに、館のうちに兵二人出でて来て、命を惜しまず戦ひて、皆追ひかへしてけり。いと不思議に覚えて、「日比ここにももし給ふとも見ぬ人々の、かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ」と問ひければ、「年来頼みて、朝な朝な召しつる土大根らにさぶらふ」といひて失せにけり。深く信をいたしぬれば、かかる徳もありけるにこそ。

(兼好法師 『徒然草』)

\*1 筑紫 〓 今の九州北部の呼び方。

\*2 押領使 〓 平安時代に治安の維持を仕事としていた役人。

\*3 土大根 〓 大根。

\*4 隙をはかりて 〓 すきをぬって。

\*5 日比ここにももし給ふとも見ぬ人々 〓 ふだんここにいらつしやるとは思われない人々。

問一 線①「いふやう」を現代かなづかいに直して書きなさい。

\_\_\_\_\_

問二 線②「よろづにいみじき薬」の意味として最も適当なものを

- 次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア だれもがよく知っている薬。
- イ どこでも簡単に手に入る薬。

ウ どんなものよりおいしい薬。

エ どんなことにもよくきく薬。

問三 線③「年久しくなりぬ」の現代語訳として最も適当なものを

次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 長い年月にならない。

イ 長い年月になった。

ウ 長い年月になるだろう。

エ 長い年月になるだろうか。

問四 線④「かく戦ひし給ふ」とありますが、どのように戦ったのですか。最も適当な部分を文中から十字以内で書き抜きなさい。


問五 線⑤「問ひければ」、⑥「いひて」の動作主として最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 押領使    イ 敵

ウ 兵二人    エ 皆

\_\_\_\_\_ ⑤ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_

問六 線⑦「深く信をいたしぬれば、かかる徳もありけるにこそ」とは、どういうことですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 信じる心をもっていたので、災難から救われることができた。

イ 食べ物大切にしていれば、いざというときに力を出せる。

ウ ほどこしてもらった恩は、決して忘れてはならない。

エ 注意をしてさえいれば、災難から逃れられることもある。

2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中ごろなまめきたる女房ありけり。世の中たえだえしかりけるが、みめかたちあいきやうづきたりける娘をなん持たりける。十七八ばかりなりければ、これを、いかにもしてめやすきさまならせむと思ひける。かなしさのあまりに、八幡へ娘ともに、泣く泣く参りて、夜もすがら御前にて、「わが身は今はいかにても候ひなん。この娘を心やすきさまに見せさせたまへ。」と、数珠をすりて打ち泣き打ち泣き申しけるに、この娘参り着くより、母のひざを枕にして、起きもあがらず寝たりければ、暁がたになりて母申すやう、「いかばかり思ひたちて、かなはぬ心に徒歩より参りつるに、かやうに夜もすがら、神もあはれと思しめすばかり申したまふべきに、思ふことなげに寝たまへる、うたてさよ。」と、くどきければ、娘驚きて、「かなはぬ心ちに苦しくて。」といひて、

身の憂さをなかなかなにと石清水思ふ心はくみて知るらむ  
とよみたりければ、母も恥づかしくなりて、ものもいはずして下向するほどに、七條朱雀のへんにて世の中にときめきたまふ雲客かつらより遊びて帰りたまふが、この娘を取りて車に乗せて、やがて北の方にして、始終いみじかりけり。大菩薩この歌を納受ありけるにや。

(橘成季『古今著聞集』)

- \*1 なまめきたる 若々しく美しい。
- \*2 かなしさ かわいさ。
- \*3 八幡 石清水八幡宮のこと。
- \*4 うたてさ 情けなさ。
- \*5 くどきければ くだくどくどと言ったので。
- \*6 驚きて 目を覚まして。
- \*7 下向する 帰る。
- \*8 ときめきたまふ雲客 栄えていらっしやる殿上人。
- \*9 北の方 夫人。

問一 線①「起きもあがらず寝たりければ」とありますが、娘が寝ていたのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 母がくどくどとうるさくて腹が立ったから。
- イ 八幡様の御利益を信じていないから。
- ウ 長い道のりを歩いて来たので疲れたから。
- エ 思い通りにならない気がして苦しかったから。

問二 線②「やがて」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 思いがけず。
- イ そのまま。
- ウ いつものまにか。
- エ とりあえず。

問三 線③「ありけるにや」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア あつたのだろうか。
- イ あつてはならないことだ。
- ウ あるだろう。
- エ あればよいのに。

問四 この女房が娘を連れて石清水八幡宮へ行ったのは何のためですか。簡潔に説明しなさい。

問五 文中の短歌「身の憂さを……知るらむ」には掛詞(一つの言葉で二つ以上の意味を表す技巧)が使われています。その部分を三字で書き抜きなさい。

Blank box for writing the answer to Question 5.